

新座市の大学における留学生数の調査および 留学生向け教材作成の試み

An Investigation of the Number of International Students in Niiza City's Universities and the Process of Production of a Japanese Textbook for Jumonji University's International Students

仇 曉芸

QIU Xiaoyun

要 旨

本稿は平成26年度、本学が採択された文部科学省の「地（知）の拠点整備事業」の一貫として行った研究の報告である。主に新座市の大学に在籍している留学生の数を調べ、また本学の留学生向けに特色のある日本語教材の作成も試みた。具体的な調査方法、過程、成果を報告する。教材作成においてチームの組織、作成の過程、教材内容の紹介、学内外との連携などについて触れた。更に今後の課題を通して本研究の可能性を探った。

1 COCの意味と本研究の概要

1.1 COCとは

平成26年度、本学は文部科学省のCOC事業に採択された。アルファベット表記である「COC」の意味を調べた。文部科学省のホームページによれば、COCとは「知（地）の拠点整備事業」という意味で、具体的な目的は下記の通りである。

本事業は、大学等が自治体を中心に地域社会と連携し、全学的に地域を志向した教育・研究・社会貢献を進める大学等を支援することで、課題解決に資する様々な人材や情報・技術が集まる、地域コミュニティの中核的存在としての大学の機能強化を図ることを目的としています。

http://www.mext.go.jp/a_menu/koutou/kaikaku/coc/1349995.htm（最終閲覧日：2015年10月11日）

上記の通り、COC事業では大学などが自治体を中心に地域社会と連携することが期待されている。本学の場合、地元の新座市をはじめとする近隣地域との連携がより重要になってきている。

1.2 本研究の内容

本研究は主に二つの内容によって構成されている。

- (1) 埼玉県・新座市の大学に在籍している留学生の数を調査した。
- (2) 本学留学生別科に在籍する留学生がどのような場面で日本語の表現につまずいているのかを明らかにし、その問題を解決するために日本文化と中国文化の違いに関する説明を付加した独自の教材作成を目指した。

1.3 研究期間と予算

COC事業の初年度ということもあり、研究期間は平成26年11月1日から平成27年3月31日までの実質半年間で、予算は10万円である。

1.4 グループの構成員

本研究のメンバーは筆者も含めて9名で、その氏名と所属は下記の通りである。なお、役職名は平成26年度のものである。

向後朋美	メティアコミュニケーション学科准教授
大石聡	国際交流支援部部長
小林晶識	国際交流支援部 職員
宮下まどか、西根大空、木元千絵	本学学生
李婷钰、徐佩娟	留学生（留学生別科）
仇晓芸	留学生別科 特任講師

2 新座市の大学に在籍する留学生数の調査

埼玉県新座市は東京都内へのアクセスが便利な、人口約16万人の市である。新座市内には十文字学園女子大学、立教大学、跡見学園女子大学の三つの大学がある。これらの三大学に在籍している留学生数の調査の手順とその結果を下記に報告する。

2.1 新座市在住の外国出身者数

まずはじめに、新座市役所経済観光部コミュニティ推進課を訪問し、外国出身者の人数を把握した。表1はその結果を示したものである。

表1 新座市国籍別外国籍住民集計表（平成25年12月末現在）

	国・地域別	人数		国・地域別	人数
1	中国	874	5	朝鮮	55
2	フィリピン	412	6	台湾	49
3	韓国	388	7	ベトナム	45
4	アメリカ	95	8	タイ	42

イタリアックで示した通り、トップ3は中国、フィリピン、韓国出身者で、4位のアメリカ以外はすべてアジアの国であり、アジア出身の人々が圧倒的に多いことが明らかになった。1位の中国出身者数は2位のフィリピン出身者数の2倍以上で、アジア諸国の中でも中国出身者が最も多いことがわかった。

2.2 新座市内三大学の留学生数

次に、各大学を訪問し、その留学生数を調査した。

2.2.1 十文字学園女子大学（本学）

表2は本学に在籍している留学生の数である。

表2 本学に在籍している留学生の数（2015.2.24現在）

学部&大学院	出身国・地域	学生数
89	カンボジア	1
	台湾	2
	ベトナム	7
	中国	79
留学生別科		
70	ミャンマー	1
	ベトナム	2
	中国	67
合計：159		

表2からわかるように、本学には留学生別科、学部、大学院を合わせると合計で159名（2015年2月の時点）が在籍している。中国出身の留学生が最も多く、146名で全体の約92%を占めている。次いで、2位のベトナム出身者が7名、カンボジアとミャンマー出身者は1名ずつである。

2.2.2 立教大学

表3は立教大学に在籍している留学生数である。

表3 立教大学に在籍している留学生の数（2013.10.2現在）

	新座キャンパス	池袋キャンパス	合計
学部	60	181	241
大学院	27	124	151
合計	87	305	392

2013年10月の時点で立教大学（池袋・新座）全体では390名以上の留学生が在籍しており、この22%にあたる87名が新座キャンパスに在籍している。すなわち、2割余りの留学生が新座キャンパスに在籍していることが分かった。国籍別の詳細な内訳はわからなかったが、留学生担当部署である国際センターによると中国、韓国出身の留学生が多いとのことである。

2.2.3 跡見学園女子大学

表4は跡見学園女子大学に在籍している留学生数である。

表4 跡見学園女子大学に在籍している留学生の数（2015.4.22現在）

	新座キャンパス	文京キャンパス	合計
学部	0	0	0
大学院	1	3	4
合計：	1	3	4

跡見学園女子大学（文京・新座）全体に在籍している留学生は大学院生の4名のみであり、担当部署である学務部・学生課によれば、この4名は中国と台湾の出身である。新座キャンパスに在籍している留学生は1名である。

2.3 三大学の合計

新座市内の三大学に在籍している留学生数は表5に示した通りである。新座市内の三大学に在籍している留学生は合計で256名である。このうち、本学の留学生が全体の62%を占めている。ここから、新座市内の大学に在籍している留学生の10人中6人が本学の留学生であることが明らかになった。

表5 新座市内三大学の留学生在籍者数

	在籍者数				合計
	大学院	学部	短期大学部	別科	
十文字（2014.5.1 現在）	10	71	11	76	168
立教（2013.10.2 現在）	27(151)	60(241)			87(392)
跡見（2015.4.22 現在）	1(3)	0			1(4)
合計	38(164)	131(312)	11	76	256(564)

（括弧の中の数字は「立教」と「跡見」の新座キャンパス以外のキャンパスを含む全体の留学生数である。）

3 本学留学生向け日本語教材の作成について

3.1 作成背景

日頃、留学生の身に起こった話や留学生からの相談を聞いたり、留学生と教職員たちのやりとりを見ていると、改めてコミュニケーションの難しさを感じる。出身や母語が同じである者でさえ共に何かをすることは容易ではないのに、それが言語や習慣も違う外国出身者となった場合、さらに大変になることは想像に難くない。

筆者自身も中国出身の留学生であったため、このようなコミュニケーションの難しさを実際に体験してきており、本学の中国人留学生と日本人学生や教職員との相互理解が進み、様々なことが円滑に進むためには何ができるのか考えていた。

これまで留学生向けの日本語教科書は主に言語に主眼がおかれており、日本文化と留学生の母国文化の差について触れるものは非常に少ない。この現状を踏まえ、まず、留学生たちが普段どのような場面でどのように日本語につまづいているのかを調べるのが重要であると考えた。さらに、筆者の出身国

である中国と日本文化の違いに関する説明も加える必要があると考え、これまで筆者が日本社会で経験した日本人とのコミュニケーションの「コツ」のようなものもコンテンツとして取り入れた。留学生同様、日本語学習者であった筆者のような非母語話者教師を中心としたグループという特徴を活かし、作成してみたかった。

3.2 タイトルと使用言語

教科書作成に協力してくれた留学生と日本人学生に相談した結果、『授業では学べない日本語—留学生生活の第一歩』というタイトルを採用することにした。ベトナム出身の留学生もいたため英語版も作成したほうが良いのではと悩んだが、本学は中国出身の留学生が圧倒的に多いため、今回はまず中国語版を作成することにした。また、留学生の周りの教職員のために日本語版も作成し、中国語のわからない人でも教材の内容が理解できるように工夫した。

3.3 教材の中身と特色

図1と図2はそれぞれ教材小冊子の日本語版と中国語版である。



図1 日本語版



図2 中国語版

この教材小冊子は主に3つの内容と日本語の豆知識によって構成されている。表6は教材の3つの主要内容とその詳細を示したものである。

表6 内容の三本柱

項目	内容	詳細
(1) 実用編	留学生が主に困っている場面、筆者がよく相談されている場面	① 折り返しの電話をする時 ② 銀行口座を開く時 ③ 家賃の支払いについて尋ねる時
(2) 場面別先生との日本語会話	留学生が教職員とコミュニケーションを取る時、伝え方について困っている場面	① “期待” (日中の「同形異義」の単語) ② 中国語の“知道了”の言い方 ③ 授業を休む時 ④ 聞きたいことがある時 ⑤ 相談したいことがある時 ⑥ 自分たちの集まりに先生を呼びたい時
(3) 日中文化の違い	生活に関する日本と中国の文化の違い	① アパートを借りる時 ② 家でテレビを見る時 ③ 先生の研究室を訪ねる時 ④ 先生に「さよなら」を言う時

表6に示したように、留学生が日本での生活や授業、教職員とのやり取りの中で実際に困った場面が中心となっている。このうち、(2) ①のように母語干渉によって留学生が誤解しやすい項目も取り上げた。「期待」は日中どちらの言語でも使用される単語であるが、「同形異義」の単語で、日本語では目上の人に使わないのに対して、中国語では目上の人にも使える。

また、言語表現にとどまらず、日本人とのコミュニケーションについての下記のようなアドバイスも随所に加えた。

- ・電話する時、場合によっては外国出身であることを相手に伝えたほうが、よりスムーズに話が運ぶ場合が多い。
- ・聞き取れない時やわからない時は、素直に「もう一度お願いします」、「もう少しゆっくりでお願いします」を言うと会話がスムーズになることが多い。

日本語豆知識については、(1) 上下(社会)関係に変わる日本語表現、(2) 便利な「ちょっと」(3) 日本語の謝罪表現≠「对不起」、の3つの項目を紹介している。

(1) では、図3に示した通り、社会的な上下関係によって語末の表現が変わるという日本語の特徴を説明している。

層	具体的な人物	品詞	②	例
「上」	・先生	名詞：～です	①	存です
	・上司	動詞：～ます(「ます形」)	②	食べます、来ます、聞きます
	・年上の先輩	形容詞 ① い形容詞：～い	③	広いです
	・知らない人あるいは距離が遠い人	② な形容詞	④	暇です、大丈夫です
「同じ」あるいは「下」	・仲の良い友達あるいは距離が近い人	名詞：～だ	⑤	存だ
	・年下の後輩	動詞：辞書形	⑥	食べる、くる、聞く
		形容詞 ① い形容詞：～い	⑦	広い
		② な形容詞	⑧	暇だ、大丈夫だ

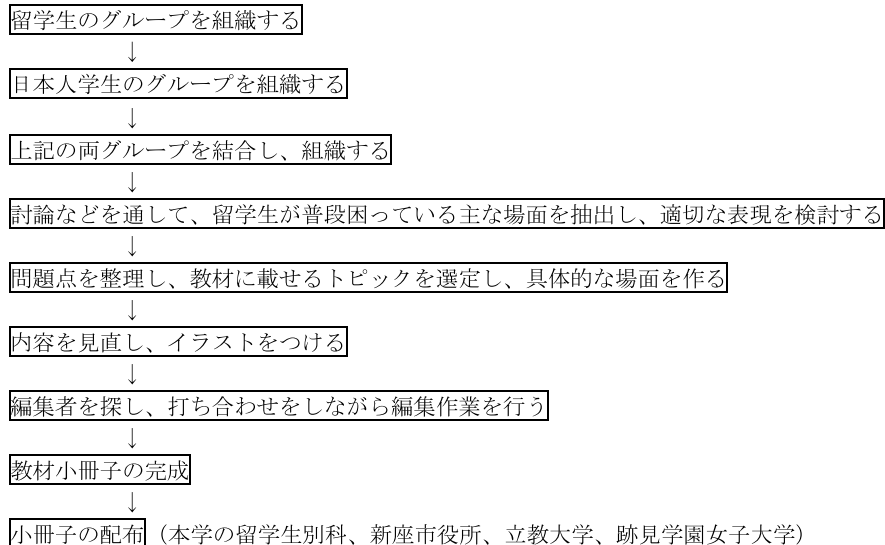
図3 上下(社会)関係で変わる日本語の表現

(2) では「ちょっと」の使い方を紹介している。「ちょっと」には「少し」の意味以外に、都合が悪いことを表す用法があることを紹介した。

(3) では、日本語の「すみません」「申し訳ありません」のような表現が必ずしも謝罪を意味しているとは限らないというポイントを説明している。「ごめんね」のような一見謝罪に見える表現が場合によっては「ありがとう」を意味することは、不思議に感じる留学生が多いため、この点にも注目することにした。

3.4 教材作成プロセス

教材は下記の手順で作成した。



4 本研究の効果

本研究には以下の（１）～（３）の３つの効果があったと考えられる。

（１）グループでの共同作業を通して、留学生と日本人学生同士の交流を深めることができた。

留学生にとっては日本語を勉強する良いきっかけとなり、日本人学生も母語日本語の価値への再認識につながっている。

（２）グループの教職員が仲良くなる一つのきっかけになった。

（３）外部訪問を通して、他大学の良い取組みを学び、本学の国際化を外に発信することができた。

5 今後の課題

今回は新座市内の大学に焦点をあて、留学生の在籍者数を調査したが、今後、高校や中学校など他の教育機関にも注目し、そこに在籍する外国出身者の数を調べるなどの展開も考えられる。また、教材の内容に関して、留学生にとって曖昧とされがちな「かもしれません」のような表現に関する内容を加え、さらに内容を充実させる余地があるだろう。さらに写真を利用したり、音声がかかるCDを付けるなど、留学生の理解を助けるための様々な工夫も考えられる。本文の説明に使う言語については、中国語以外に英語なども加えて教材を作成することも検討している。

謝辞

本研究において、COCセンターの福島聡先生、国際交流支援部の大石聡部長、人間福祉学科の片山

友子先生、メディアコミュニケーション学科の向後朋美先生、「編集工房アルモフォ」の松井美奈子氏に多大なるご協力を頂いた。この場を借りて感謝申し上げる。